

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	上下水道局水質管理課	評価者 (課長)	佐貫 信行	評価責任者 (部長)	川崎 和範			
事務事業コード	事務事業名	水質検査事業	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	11水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V21 水道水の安定供給	基本方向	安心、安全な水道水の供給	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	水質改善と管理の強化			【 】 %	
	推進施策の展開	水質基準項目、水質管理目標設定項目及び要検討項目の検査可能範囲の一層の拡充			25年度市民評価の満足度	
		【上水道の整備】			67.00%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 水道水	意図(どういう状態にしたい): 水道水に対する安心・安全の意識の向上	事業の内容 (手段)	水質検査技術の向上、検査可能項目数の拡充		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	①基準項目事業＝法令で決められた検査の実施は達成。 ②水道GLP事業＝更新認定についてはH26.8.25に取得完了で達成。 ③水質管理目標設定項目等事業＝一部未達成で次年度以降へ繰り越し。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	41,250	41,942	38,086	43,755		44,237						
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目			単位	%	(予算額)	うち一財	千円				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	40,051	38,620		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	GLP認定継続、2/2	GLP認定継続、3/3	GLP認定更新、3/3	GLP認定継続、3/3	GLP認定継続、3/3	(決算額)	うち一財	千円				分析機器が古くなったため点検費用が増額となった。	
	実績値	GLP認定継続、1.5/2	GLP認定継続、3/3	GLP認定更新、3/3					人工数	人	0	0		
	達成度(%)	75.0%	98.6%	100.0%			支出コスト	千円	決	40,051	決見	38,620		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	① 基準項目事業 (経常的事務事業)		水質基準51項目検査	水道水の水質基準への適合の確認	水質基準項目に係る水質検査の完全履行	毎月・毎年検査の実施 100%達成		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
			■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価									
	細事業の課題		26年度未達成の「検査方法の妥当性評価書」作成を次年度以降に繰り越し。(非イオン界面活性剤、陽イオン、カビ臭)・・・装置等の更新による再評価分を含む。										A	改善案
② 水道GLP事業 (ソフト事業)		水質基準51項目検査	検査の質(精度・真度)の確保と検査結果の妥当性の証明	水道GLP認定の継続(本年度は8月25日に更新認定を取得、2期目)	水道GLPの更新認定取得 100%達成		6							
細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価								A	改善案	

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	水質管理目標設定項目等事業 (ソフト事業)	水質管理目標設定項目及び要検討項目の検査	検査可能項目数の拡充	農薬3項目及び要検討項目2項目の分析を実施	農薬のうち、1項目(MCPA)及び塩化ビニル、エピクロロヒドリンの分析開始 達成度60%(3/5)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③						1						
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 農薬のうち、アミトラズ、ベンゾフェナップ分析未達成(厚労省の「水質管理目標設定項目の検査方法」の発表が平成27年3月25日付けだったので、MCPA以外の26年度中の分析着手が不可能となったため)				細事業評価							
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	平成25年4月1日農薬類34項目追加 平成26年4月1日水質基準に亜硝酸態窒素追加 平成27年4月1日ジクロロ酢酸とトリクロロ酢酸基準値強化、農薬分析方法改定			
	上記理由(平成27年4月1日施行の農薬分析方法改定)のため平成26年度までに達成した農薬類についても、その分析法について再検討の必要が生じた。(LC/MS関連10農薬類)			

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	農薬の分析については、特定の者しか分析ができない(機器の取り扱い経験がない。)ため、複数の者が取り扱いができるようにする必要がある。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 安全な水を安定供給することは水道事業の使命である。引き続き市民の安心、安全確保を最優先に、検査精度の向上と信頼の確保に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600504
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(4)安全管理の強化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
分析機器が古くなり故障が頻発するようになったので、検査精度を確保するため点検費用を積み増した。その内訳はICP/MS定期点検588千円、IC-PCシアン定期点検1,148千円、LC/MS/MS定期点検1,847千円(合計3,583千円)となっている。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	上下水道局水質管理課	評価者 (課長)	佐貫 信行	評価責任者 (部長)	川崎 和範			
事務事業コード	事務事業名	協議会運営事業	事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	11水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V21 水道水の安定供給	基本方向	水道水の水質検査の共同実施による人的資源の有効利用と経費の節減	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	水質改善と管理の強化			【 】 %	
	推進施策の展開	周南市、下松市、光市の3市の水道水の水質検査の共同実施の維持			25年度市民評価の満足度	
	【上水道の整備】			67.00%		
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 水道水水質検査	意図(どういう状態にしたい): 共同で実施	事業の内容 (手段)	水道水の水質検査(定期検査、臨時検査等)の共同実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	共同検査の継続						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】								直接事業費	千円	7,269	7,362	7,421	7,668	7,773
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目			単位	%	(予算額)	うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	7,243	7,255			対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	共同検査の継続	共同検査の継続	共同検査の継続	共同検査の継続	共同検査の継続	(決算額)	うち一財	千円						
	実績値	継続	継続	継続			正職員人件費	千円	0	0					
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人							
							支出コスト	千円	決) 7,243	決見) 7,255					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
										正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①														
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
										改善案					
	②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
									改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成10年4月1日新南陽市が参加、平成19年10月1日事務所を富田2-11-1へ移転、平成21年度から事務費の各市負担開始、平成23年度から庁舎使用料の各市負担開始、平成27年度から消費税変更による庁舎使用料負担金の改定実施	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	人的資源の有効活用と経費の節減がなされているため。	改善案
----	---	--	------	---------------------------	-----

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	協議会のスケールメリットを生かし、効率的、効果的な運営に努められたい。
----	---	-------------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600504
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(4)安全管理の強化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
特記事項なし	

備考

備考	
----	--